



1 単元名

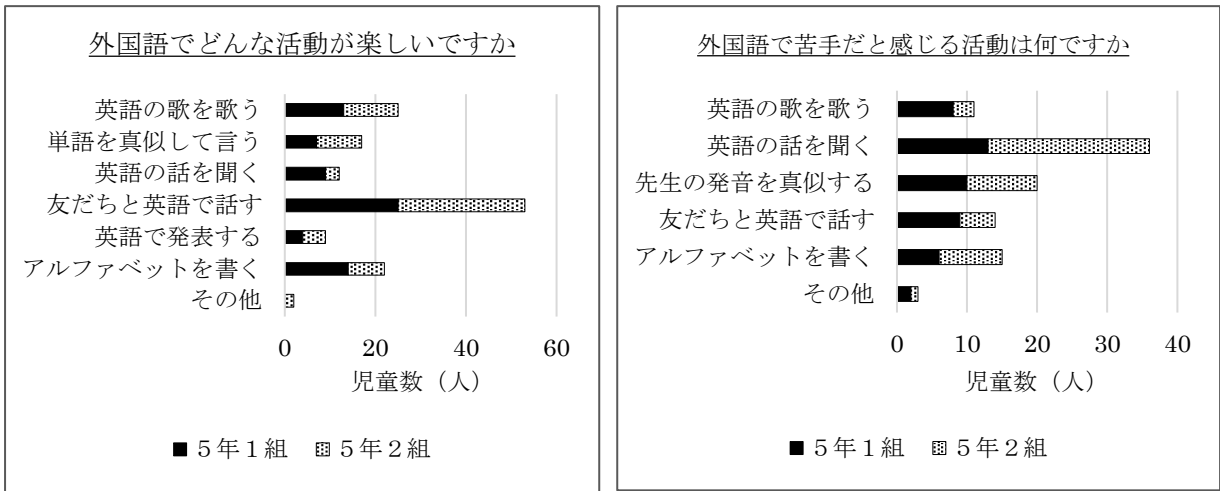
の5年生に、自己紹介ビデオレターを送ろう！
 (NEW HORIZON Elementary English Course 5 Unit3 What do you want to study?)

2 単元について

(1) 児童について

児童は、Unit1では、自分の名前やそのつづり、好きな物を友だちと紹介し合い、名刺カードを交換する活動を経験している。また、Unit2では、自分の誕生日やプレゼントに欲しいものを伝え合い、友だちに英語で自分のことを伝える活動を重ねてきている。4月に実施したオリエンテーションで書いた1年間の目標には、「英語が話せるようになりたい」「外国の人と話せるようになりたい」などと一人ひとりが前向きな願いを書いており、学習意欲も感じられた。

しかし、4月当初は、コミュニケーションに意欲的になれず、いつも同じ人としか話そうとせず、互いに知り合おうという意欲が持てない児童が多くいた。また、5年生で外国語科に変わってから、一つの単元ですべてくる語彙の多さや、表現の長さなどに慣れることができず、自信をもって話せない姿も見られた。そこで、児童の実態を把握するために、次のようなアンケートを行った。



以上の結果から、友だちと話すのは楽しいと感じている一方で、英語の話を聞くことが苦手だと感じる児童が多いことがわかった。このことから、友だちとのやり取りにおいて「何を言っているのかわからなかったらどうしよう」と感じた場合、互いのことをあまり知らない友だちと話すことに不安を感じていると思われる。

昨年度実施した英検 ESG の結果では、スピーキングとライティングの平均スコアは、得点率約94%、リーディングとリスニングの得点率は86%であった。しかし、技能別にみていくと、リーディングの平均スコアは85%に上がったのに対し、リスニングの平均スコアの得点率は71%と、差が見られた。音から意味を理解していく過程において課題があると感じている。

(2) 教材について

本教材は、身近な話題である教科について、日課表や好きな教科など、自分のことを伝える表現の幅を広げることができる教材である。また、友だちや身近な人の夢を聞いたり、自分の夢を考えたり

することを通して様々な職業に出会うことができる。これは、キャリア教育の高学年の発達課題である、「社会と自己のかかわりから、自らの夢や希望をふくらませる」ことにアプローチできる内容といえる。自分の夢に近づくための学習について考える活動を通して、自立した学習者になるための思考を身につけることが期待できる。

また、What do you want to be? や What do you want to study? という表現について、これらを使用する場面で繰り返し使うことを通して、自然と to 不定詞の表現に慣れ親しむことができる。

一方、新出の語彙が多岐にわたるため、児童が学習に負担を感じる事が予想される。教科の単語は、music や Japanese などの親しみのある語、math や P.E などの短くて覚えやすいものもあるが、Arts and craft や Calligraphy など、音を捉えにくい語も多い。児童ができるだけ負担なく親しめるような工夫や、個別の課題に取り組む時間も確保したい。

(3) 指導について

アウトプットの場面では自分に関わりのある語を使用し、語彙が限られるものの、必然性があるため記憶に残りやすい。しかし、人の話を聞き取るためには、一定数の語彙をインプットする必要がある。そこで、自分との関わりをもたせ、使用する場面を明確にした上で様々な語に出会うことが聞く力を高める上で効果的であり、単元初めのインプットの場面で、児童の興味関心を高めるような丁寧な指導が必要であると考えた。

導入時には、ビデオレターを見せ、近隣の █████ 小学校の5年生が交流したいと思っていることを知らせ、ゴールイメージを持たせる。既習事項や本単元で学習したことを使って、自己紹介のビデオレターを送るという単元終末の言語活動の見通しをもたせ、学習意欲を高める。そして、夢に近づくためのドリームスケジュールのモデルを教師が示すとともに、それをつくるためにはどのようなことを学べばよいかを問い、学習の計画を立てる。

本時では、児童にとって難しいと予想される教科の単語を「知る→慣れる→使う」というステップで理解させていく。単語を「知る」段階では、初めにチャンツを聞かせ、学びたい教科の言い方について捉えさせる。次に、スモールトークでやり取りをしながら、学びたい教科を発話させていく。

「慣れる」段階では、キーワードゲームをしながら繰り返し聞いて発話させる。その際、話を聞くことに不安を感じる児童が多いことを踏まえ、言えない音は聞き取れないということを伝え、しっかりと声を出して練習するよう指導する。「使う」場面では、自分が学びたいと思っている教科を言ったり、友だちに尋ねたりしていく。その際、児童が積極的にコミュニケーションをとれるように、インタビュービンゴをしながらやり取りをさせる。まだ覚えられていない単語があることも考えられるので、難しかったところや困ったことを出し合い、課題を共有していく。最後に、ALT のクリス先生の夢と学びたい教科を聞き取ることで、本時の形成的評価をする。振り返りでは、自分が言えるようになった教科を確認し、次の課題を明確にしていく。繰り返し発話しながら理解をしていき、そこから見つけた課題を次のめあてにするというサイクルを定着させたい。

単元のゴールでは、自分のドリームスケジュールを作り、簡単な自己紹介を付けてビデオレターを █████ 小学校の5年生に送る。その際、違う学校の友だちに、はじめて自己紹介をするという場面において、どのようなことを伝えたらよいか考えさせ、相手に応じた自己紹介を考えさせたい。

3 単元目標

█████ 小学校の5年生に自己紹介ビデオレターを送るために、職業や教科について、ALT や友だちの短い話を聞いてその概要を捉えたり、自分のドリームスケジュールを作って、簡単な自己紹介とともに話したりすることができるようにする。

4 関連する学習指導要領における領域別目標

聞くこと	ウ ゆっくりはっきりと話されれば、日常生活に関する身近で簡単な事柄について、短い話の概要を捉えることができるようにする。
話すこと [発表]	ア 日常生活に関する身近で簡単な事柄について、簡単な語句や基本的な表現を用いて話すことができるようにする。

5 単元の評価規準

	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
聞くこと	<p><知識> 「What do you want to study?」「I want to study～.」「What do you want to be?」「I want to be～.」の表現や教科・職業を表す語句について、理解している。</p> <p><技能> 友だちなどの夢や夢に近づく時間割を聞き取る技能を身に付けている。</p>	友だちや先生の考えをよく知り、自分の考えに生かすために、夢やその夢に近づくために関わる教科を聞き取っている。	友だちや先生の考えをよく知り、自分の考えに生かすために、夢やその夢に近づくために関わる教科を聞き取るようとしている。
話すこと [発表]	<p><知識> 「What do you want to study?」「I want to study～.」「What do you want to be?」「I want to be～.」の表現や教科・職業の単語を理解している。</p> <p><技能> 夢に近づくための時間割について、教科・職業を表す語句や、「I want to study～.」「I want to be～.」の表現等を用いて話す技能を身に付けている。</p>	福良ヶ丘小学校の友だちに自分のことをよく知ってもらうために、簡単な自己紹介や夢や学びたい教科を伝えている。	福良ヶ丘小学校の友達に自分のことをよく知ってもらうために、簡単な自己紹介や夢や学びたい教科を伝えようとしている。

【評価基準】 聞くこと

	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
a	友だちや先生の話聞いて、それが表す意味をほとんど聞き取っている。	友だちのドリームスケジュールを聞いて、夢に近づく時間割になっているか、アドバイスをしている。	友だちのドリームスケジュールを聞いて、夢に近づく時間割になっているか、アドバイスをしようとしている
b	友だちや先生の話聞いて、それが表す意味を概ね正しく聞き取っている。	友だちのドリームスケジュールを聞いて、その適切さについて反応している。	友だちのドリームスケジュールを聞いて、その是非について反応しようとしている。
c	bを満たしていない。	bを満たしていない。	bを満たしていない。

【評価基準】 話すこと [発表]

	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
a	学んだ表現や単語について、正確に伝えている。	必要に応じて、基本表現に情報を付け加えたり、呼びかけの文を付け加えたりしている。 例) Hello. My name is Yumiko. I like curry and rice. I don't like tomatoes. My birthday is May 15 th . I want to be a pilot. I want to study English. How about you? Nice to meet you.	相手に自分のことを知ってもらうために、基本の表現に、情報を付け加えようとしている。
b	学んだ表現や単語について、一部間違いはあるが、概ね正しく伝えている (80%)	今まで学んだ表現を使っている。 例) Hello. My name is Yumiko. I like curry and rice. My birthday is May 15 th . I want to be a a pilot. I want to study English. Nice to meet you!	相手に自分のことを知ってもらうために、今まで学んだ表現を使おうとしている。
c	bを満たしていない。	bを満たしていない。	bを満たしていない。

7 指導と評価の計画（単元指導計画）（全8時間）

◎指導に生かす評価 ○記録に残す評価

時	目標と主な活動	評価			
		知	思	主	評価規準<方法>
1	「色々な人のドリームスケジュールを聞こう」(学習のゴールをつかむ)先生などの子どもの頃の夢や夢に近づく時間割を聞き取るとともに、学習の見通しを持つことができる。	○			先生の話聞いて、ドリームスケジュールの作り方がわかり、自分のドリームスケジュールを作っている。
2	「自分のなりたい職業を伝え合おう！」人気の職業ランキングを予想し、聞き取りクイズを聞いたり、友だちとなりたい職業を尋ね合ったりする活動を通して、職業の単語や I want to be ～. の表現の意味を理解することができる。	○			職業の単語を聞き、正しいイラストを選んでいる。
3 本時	「自分の学びたい教科を伝え合おう！」キーワードゲームやインタビュービンゴで自分の学びたい教科を言ったり尋ねたりする活動を通して、教科の単語や I want to study～. の意味を理解することができる。	○			ALTの話聞き、学びたい教科を選んでいる。
4	「ドリームスケジュールを伝え合おう」友だちの考えをよく知り、自分のドリームスケジュールに良いところを取り入れるために、夢に近づく日課表について、友だちに伝え合ったり、その内容の適切さについて感想を伝え合ったりする活動を通して、聞き取ることができる。	◎	◎	◎	【聞くこと】 先生のドリームスケジュールを聞いて、日課表について、適切さやその理由を書いている。 <ワークシート>
5	●●●● 小学校の友だちに自己紹介できるようになろう」 福良ヶ丘小学校の友だちに自分のことをつたえるために、自己紹介の内容について、先生の自己紹介を聞き取ったり、今までの学習を想起したりする活動を通して、自分の自己紹介の内容について考えることができる。	○	○	○	自己紹介の内容について、考えている。
6 ・ 7	●●●● 小学校の友だちに送るビデオレターを撮影しよう」 ●●●● 小学校の友だちに自分について知ってもらうために、自己紹介を考え、録画し、表現を友だちと見合って学び合う活動を通して、自己紹介ビデオレターを完成することができる。	◎	◎	◎	【話すこと(発表)】 簡単な自己紹介と、自分の夢や学びたい教科を伝えている。 <動画撮影>
8	●●●● 小学校の友だちの自己紹介ビデオレター！」 福良ヶ丘小学校の友だちについて知るために、自己紹介ビデオレターの内容について、聞き取っている。	○	○	○	●●●● 学校の友だちの発表に興味をもって聞いている。

7 本時の指導（3/7）

(1) 題目 自分の学びたい教科を伝え合おう。

(2) 本時のねらい

I want to study～の表現や、教科を表す単語について、スモールトークやキーワードゲーム、友だちと学びたい教科を尋ね合う活動を通して、理解できるようにする。

(3) 展開

時間	学習活動	指導上の留意点	備考・評価
3	<ul style="list-style-type: none"> 挨拶をする。 3 Questions 【アルファベットタイム】 アルファベットの音と文字をつなげる歌を歌う。 	<ul style="list-style-type: none"> 友だちや先生に挨拶をし、話をしやすい雰囲気づくりをする。 天気や日付・曜日を確認する。 アルファベットジングルを歌わせ、アルファベットの名前と音に慣れ親しませる。 	デジタル教材
7	<ul style="list-style-type: none"> 【Warming up】 6年生のなりたい職業クイズ 	<ul style="list-style-type: none"> 前時の表現や単語について、6年生の夢について聞き取りクイズに答えさせる。 	Kahoot
5	<ul style="list-style-type: none"> 本時のめあてを確認する。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px auto; width: fit-content;"> 自分の学びたい教科を伝え合おう </div> <ul style="list-style-type: none"> 【チャンツ】 教科に関する単語に慣れ親しむ。 	<ul style="list-style-type: none"> 学習計画を振り返り、単元のゴールを確認した上で、本時のめあてを位置付ける。 チャンツを聞いたり声を出したりして、自分の学びたい教科を表す単語を捉えさせる。 	絵カード
5	<ul style="list-style-type: none"> 【スモールトーク】 What do you want to study?をテーマに、自分の学びたい教科について話をする。 	<ul style="list-style-type: none"> チャンツで聞き取った単語をたくさん発話させる。その際、教師はリキャストしながら、I want to study～を使った文での表現に慣れさせていく。 児童が思い出す手掛かりになるように、イラストや既習の単語とつなげたり、単語の始めの音のアルファベットに注目させたりする。 	絵カード
5	<ul style="list-style-type: none"> 【キーワードゲーム】 教科に関する単語に慣れ親しむ。 	<ul style="list-style-type: none"> 色々な教科が出揃ったところで、キーワードゲームを通して、音に慣れさせていく。 	デジタル教科書
10	<ul style="list-style-type: none"> 【インタビュービンゴ】 学びたい教科について、友だちと尋ね合う。 	<ul style="list-style-type: none"> 色々な友だちと好きな教科を伝え合い、言うのが難しかった教科や、わかりづらかった教科を出し合う。 自分の言いたい言葉に十分慣れ親しんでいない児童が、ゲームに参加できるよう、ロイロノートのカードに音を録音しておき、いつでも聞いて真似できるようにする。 	ロイロノート
5	<ul style="list-style-type: none"> 先生のドリームスケールを聞こう】 ALTの先生が考える理想のスケジュールを聞き、教科に関する単語を聞き取る。 	<ul style="list-style-type: none"> 先生のドリームスケジュールを聞き、学びたい教科について聞き取り、カードを選ぶ。 	ALTの話聞き、学びたい教科を選んでいく。(ロイロノート)
5	<ul style="list-style-type: none"> 本時の活動を振り返る。 挨拶をする。 	<ul style="list-style-type: none"> 本時のめあての振り返りや次につながる自分の課題について書くよう促す。 	ロイロノート

